

みんなで防災



正しい情報を
聞くこと・知ることが大切



非常持ち出し品の準備

- 避難場所生活で最低限必要な物品を、いつでも持ち出せるように準備
- ラジオ・懐中電灯などは壊れていないか確認

非常持ち出し品チェック表

飲料水	<input type="checkbox"/> 水一人3リットル×3日分	衣類	<input type="checkbox"/> 肌着（1から2着）
食料品	<input type="checkbox"/> 缶詰（缶切り）	日用品	<input type="checkbox"/> 防寒着
	<input type="checkbox"/> インスタントラーメン（カップ麺）		<input type="checkbox"/> ちり紙、タオル、バスタオル
電気器具	<input type="checkbox"/> ビスケット、乾パン、チョコレート	乳児等	<input type="checkbox"/> 生理用品
	<input type="checkbox"/> 懐中電灯		<input type="checkbox"/> マッチ、ろうそく、携帯用燃料
	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ		<input type="checkbox"/> 軍手、厚手の靴下、カイロ
医療品	<input type="checkbox"/> 予備の電池	その他	<input type="checkbox"/> ロープ、笛、レインコート
	<input type="checkbox"/> 常時服用している薬、常備薬		<input type="checkbox"/> ミルク、哺乳びん
	<input type="checkbox"/> 消毒液、きず薬、脱脂綿	<input type="checkbox"/> 紙おむつ、おしりふき	
	<input type="checkbox"/> ガーゼ、包帯、三角巾	<input type="checkbox"/> 現金、通帳、印鑑、保険証写	
	<input type="checkbox"/> ばんそうこう など		<input type="checkbox"/> 連絡先一覧

① 過去の災害から学びましょう

災害は忘れたころにやってきます。昔から地域に住んでいる人などに、過去に経験した災害などについて聞いてみましょう。

② 非常持ち出し品を準備しておきましょう

備えあれば憂いなし。非常時に持ち出す最低限の必需品は、リュックサックに入れ、すぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

③ 家具の転倒防止対策を行いましょう

過去の大地震では、多くの方々が倒れてきた家具の下敷きになり、亡くなられています。「家具は必ず倒れるもの」として、固定するなど対策を講じましょう。

④ 避難場所・避難経路を確認しておきましょう

避難場所への安全な経路を確認しておきましょう。避難する際は、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めるなど二次災害の防止に配慮しましょう。

⑤ 安否情報の確認方法を家族で決めておきましょう

家族が別々の場所にいる場合の発災時の安否確認に備え、日頃から災害伝言ダイヤルによる確認方法や集合場所などについて、家族と話し合ひましょう。

⑥ 災害情報に関心を持ちましょう

災害から身を守るためには、正しい知識を身につけることが重要です。平素からテレビやラジオなどで常に新しい情報を入手しましょう。

⑦ 早めの避難を心がけましょう

災害はあっという間に事態が急展開します。津波の到達時間、避難に要する時間、一緒に避難する家族等の体力を考え、早めに避難することが大切です。